

独自の有機 ICTシステム技術構築へ

山形大が研究会

山形大は「フロンティア有機システムイノベーションセンター」が文部科学省の国際科学イノベーション拠点として採択されたことを受け、工学部が中心になって「有機ICTシステム研究会」を発足させた。10年後の社会を見据え、インターネット上の膨大な情報「ビッグデータ」を活用した山形大独自の有機ICTシステム基盤技術を構築するのが狙い。

山形大は3月、同センターの事業採択により49億円の建設費を獲得。関連するCOI(センター・オブ・イノベーション)ストリーム拠点形成事業にも応募している。ヘルスケア(健康管理)アンビエント(環境)の両分野で、有機エレクトロニクス技術をベ이스に「人、物、情報」がつながり、ハピネス(幸せ)を実感する柔構造社会の実現」を提案している。

10年後見据え ビッグデータを活用

この拠点構想でリーダーシップを発揮するには、大学の強みである有機エレクトロニクスのシーズを生かして、ビッグデータ分析と結びつける新たなICTシステムづくりが不可欠と判断。学長特別研究プロジェクトとして、研究会発足の運びになった。メンバーは今野千保産学連携教授を座長、横山道史准教授を幹事に計17人。「有機材料分野だけでなく、機械や電気・電子も含めた異分野の融合」(飯塚博学部長)をコンセプトに学部全体から人材を集め、企業の協力も得た。月に1〜2回会合を持ち、ビッグデータICTの各種要素技術やアプリケーション事例などの知見を深めるとともに、討論を重ねている。

横山准教授は「有機システムを看板に一体になって10年後のハピネスを実現できる社会実現を目指したい」としている。

宮崎駿監督が引退

「風立ちぬ」「千と千尋」など



宮崎駿監督

【ベネチア共同】アニメ映画監督の宮崎駿さん(72)が、公開中の作品「風立ちぬ」を最後に引退すると、製作会社スタジオジブリが1日、発表した。イタリアで開催中の第70回ベネチア国際映画祭会場で、同社の星野康二社長が明らかにした。6日に東京で宮崎監督が記者会見を開くという。

「風立ちぬ」は同映画祭コンペティション部門に出品。1日夜の公式上映に先立って開かれた記者会見で、星野社長が「ベネチアには過去に何度も招待していた。世界に大変友人の多い宮崎駿に関しての発表をこの場でさせていただきます」と切り出した後、「宮崎監督が引退することを決めました」と述べた。

宮崎監督は今回の映画祭に出席していなかった。「風立ちぬ」は宮崎監督の5年ぶりの新作で、零式艦上戦闘機(ゼロ戦)の設計者の半生を基にしたフィクション。日本が関東大震災を経て、戦争に突き進む激動の時代を懸命に生きた若者を描いた。作品は7月20日に公開され、配給元の東宝によると、公開から37日間で640万人を動員、入は80億円た。

宮崎駿監督の主な作品()は製作年

「ルパン三世 カリオストロの城」	(1979年)
「風の谷のナウシカ」	(84年)
「天空の城ラピュタ」	(86年)
「となりのトトロ」	(88年)
「魔女の宅急便」	(89年)
「紅の豚」	(92年)
「もののけ姫」	(97年)
「千と千尋の神隠し」	(2001年)
「ハウルの動く城」	(04年)
「崖の上のポニョ」	(08年)
「風立ちぬ」	(13年)

米アカデミー編アニメ賞を受賞した。の谷のナウ城ラピュタトロ」など過去に宮崎監督口にし、ネとがある。

タンク、配管で高

汚染水問題

井戸、排水溝で

福島第一原発の地上タンクから高濃度汚染水が漏れた問題で、東京電力は8月31日深夜、タンク3基と配管1カ所から毎時70〜1800リットルの非常に高い放射線量が計測されたと発表した。いずれのタンクにも明らかな水位の低下はないとみられる。さらに「水溝で、スなどベータ物質が10検出され

命を守る

防災の日 政府など訓練

南海トラフや富士山噴火